

〔テーマ名〕 現代中国研究

〔担当者名〕 代表 情報システム系 房冠深  
情報システム系 渡邊朝美  
海外展開促進 宇都宮紀雄

〔募集人数〕 20 名以下

〔会 場〕 C 講義室と D 講義室

〔実施内容〕

中国語: 中国語の基礎を学び日本語、英語と比較しその特性を探る。

中国研究: 中華圏の文化、経済などの中から、自身の興味があるテーマについて調査・研究し、発表する。

〔演習計画〕

毎週、前半を発表と質疑応答、後半を中国語学習に充てる。

交流提携校である大連東軟信息学院(中国)や国立聯合大学(台湾)の教員や実習生など、学外の人との交流の機会も設ける予定。

過去に発表されたテーマの例を以下に示す。

- ・中国と日本の妖怪について
- ・日本と中国の数学用語の比較
- ・中国キャッシュレス社会の現状
- ・日中の報道の違い
- ・新冷戦と中国と日本の関係
- ・香港のデモについて 等々

〔備 考〕

1. テキスト(約¥2,000)を購入する必要があります。
2. 全系横断演習Ⅱ(後期)はないので、卒業研究には結びつきません。